

## 超音波探傷試験 II 問題集 2019 年版第 2 刷正誤表 (Ver. 5)

2026 年 1 月 11 日

頁	章	行, 問題番号	誤	正
7	1	問 1.2.10	正答 : c)	正答 : a)
16	2	問 2.2.9	d) 表面波は材料の表面層だけ伝わる波で, 周波数が低いほど表面部のエネルギーは大きい。	d) 表面波は材料の表面層だけ伝わる波で, <b>周波数が高いほど表面部にエネルギーが集中する。</b>
41	2	問 2.5.27	解答欄 a) 0.009	<b>a) 0.008</b>
49	3	問 3.1.1	<p>次の文は, 垂直探傷における探傷目的と探傷方向について述べたものである。正しいものを一つ選び, 記号で答えよ。</p> <p>a) 超音波の伝搬方向に, 平行な広がりを有するきずからのエコー高さは高く, 検出が容易である。  b) きずを最も検出し易い超音波の伝搬方向は, 一般にきずの面積が最大となる方向である。  c) 鍛造材では, 鋳造時のきずが鍛造による塑性変形にしたがって変形することになるので, きずの向きなどは推定できない。  d) 鍛鋼品の場合, きずの方向が決まっているので垂直探傷だけを行う。</p> <p>正答 b)</p>	<p>次の文は, 垂直探傷における探傷目的と探傷方向について述べたものである。正しいものを一つ選び, 記号で答えよ。</p> <p>a) 超音波の伝搬方向に, 平行な広がりを有するきずからのエコー高さは高く, 検出が容易である。  b) <b>面状のきず</b>を最も検出し易い超音波の伝搬方向は, 一般に<b>きずの面に垂直</b>となる方向である。  c) 鍛造材では, 鋳造時のきずが鍛造による塑性変形にしたがって変形することになるので, きずの向きなどは推定できない。  d) 鍛鋼品の場合, きずの方向が決まっているので垂直探傷だけを行う。</p> <p>正答 b)</p>
184	6	問 6.6.9	正答 : a	正答 : c